

コース45 みつとうげやま 三ツ峠山



リーダー CL T/K SL S/K
 実施日 平成30年12月1日(土)
 参加者 25人 (男性 6 女性 19)
 天候 曇り グレード B
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
荻川駅東口		5:10	10分遅れで出発。駅西口、秋葉区役所経由
諏訪湖 SA	9:15	9:25	米山 SA 松代 PA 立寄り。境川 PA で靴履き替え
三ツ峠山登山口	11:05	11:15	登山道はかなりの傾斜。トイレは団体不向き
三ツ峠山荘		12:20	カラマツ越しの富士山がきれい
三ツ峠頂上	12:40	12:50	富士山を裾のからの風景が見られる。集合写真
三ツ峠山荘	13:10	13:50	昼食、集合写真
三ツ峠山登山口	14:50	15:00	脱装備
諏訪湖 SA	16:50	17:05	コンビニ、境川 PA 立寄り
米山 SA	19:30	19:45	松代 PA に立寄り
荻川駅東口	21:20		秋葉区役所、駅西口経由。20分遅れで到着

山行等概要 (幹事のコメント)

- 雨の中10分遅れで出発。高速道路は風が強く、バスが揺れる。上信越道に入ると追い風になり揺れがない。車窓からは妙高山、火打山の雪山がきれい。
- 長野道は曇り空で、北アルプス見えず、中央道に入ってから相変わらずハヶ岳、南アルプスの山々は見えない。葎崎付近に来ると前方にうっすらと富士山が見えて来る。
- 三ツ峠登山口には行程通り11時に到着。珍しい、突然「イノシシ」のお出迎え。登山口で動物に出会うのは羅臼岳に登った際に「キタキツネ」に出会った以来である。気分よく登山開始。
- 金ヶ窪沢沿いの林道を登って行くが、未舗装で傾斜が強く、堰堤に着くまでに遅れが出る。堰堤の先を大きく折り返すとカラマツ林。きつい傾斜、ゆるい傾斜を繰り返して行くと三ツ峠山・三ツ峠山荘への分岐。まずは三ツ峠山荘へ。
- 三ツ峠山荘到着。ここの展望台から



三ツ峠山頂上 1・2班の皆さん

見事な富士山が広がる。黄金色に色づいたカラマツ越しの富士山は素晴らしい。登山客がいっぱいなので頂上へと向かう。

- 頂上へ向かう際大勢の外国人と出会う。言葉を交わしながら頂上に到着。集合写真を撮り、昼食場所の三ツ峠山荘へと折り返す。食事後下山。
- 急傾斜の道なので、注意しながら下山。登る際にも道の脇に霜柱が所々に見受けられたが、帰りにもまだ融けず見る事ができた。気温が下がっていたお陰で休息もせず下山。予定の時間にバスに乗車。



三ツ峠山頂上 3・4班の皆さん

- 帰路は行きと違って山々はきれいに見える。この度の富士山は今一でしたが、機会がありましたら天下茶屋から、河口湖と富士山の風景を見ていただきたいです。
- 終着地には 20 分遅れで到着。皆さん、ご協力ありがとうございました。

三ツ峠山〔開運山〕に参加して

(1590) K/N

登山道の看板に、「御返山地の末端にあり、開運山、御巢鷹山、木無山の三山を総称して 三ツ峠山と言われている」とありました。

早朝の雨、カミナリ、稲光のなかを少し遅れて出発です。予報では山梨は晴れ、高田を過ぎる頃には雨もあがっていました。長〜いバスの時間も朝食、おしゃべりに花を咲かせて過ごしているうちに三ツ峠登山口へ。登り始めようとしたとき、喚声が上がります。

見るといのしし（ウリ坊）です。来年の干支の御出迎えです、ウリ坊は声に驚き山の中へ一目散、来年も良い年の予感かな。

三ツ峠山も登り口がいくつかあるようで、私たちの登った所は、山荘や電波塔の荷物を運ぶ道路でそこそこ広く、おだやかで歩き易かったのですが、ときおり急な登りも、朝の寒さを思わせる様に 3~5cm位の霜柱が林道の両脇に残っており、道も凍っている所、日が当たりトロトロの所ありで気を付けて登り下りました。1時間ちょっと登ったところでしょうか二股を右に進んで行くとすぐに三ツ峠山荘の前に、同時に富士山ドーンです。

山荘の前には休み処があり、多勢の方が昼食をとっておられ



道路わきの霜柱

ます

昼食は後でと云うことで山荘の横を通り 四季樂園（名前がいいですね）前を通り少し急坂を行くと最後に階段（200 段位）山頂です。狭いです。

晴れて富士山が良く見えそうですが天気が良いすぎて霞がかかり逆光ではっきりしません、まわりの山もです。残念！
写真もそこそこに下ります。

富士山を見ながら山荘前で昼食、1：40、
集合写真を撮りバスの待つ所へ
帰りのバスから夕陽に映えた八ヶ岳、諏訪湖
のまわりのあかりがとてもきれいでした。



頂上から見た富士山（逆光により別の日の写真）



三ヶ峠山荘前にて